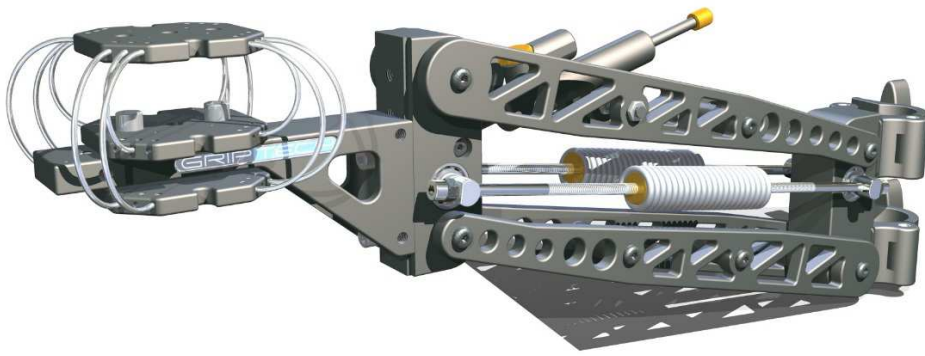


GRIP TECH

VVI LIGHT



VVI Light は、グリップテックハイブレーションアイソレーター シリーズで最も小型のモデルです。DJI Ronin や Mobi などポピュラーなハンドヘルドの3軸 gimbal 用にデザインされています。VVI Light は素早く取付できる Wire Rope Isolator (WRI) 付の Vertical Vibration Isolator です。WRI との使用により、でこぼこの地形でプラットフォームを移動しながらの撮影などで生じる振動を除去または軽減します。VVI Light は、映像を安定させるのを助けると同時に gimbal のモーターにかかる負荷も軽減します。

耐荷重

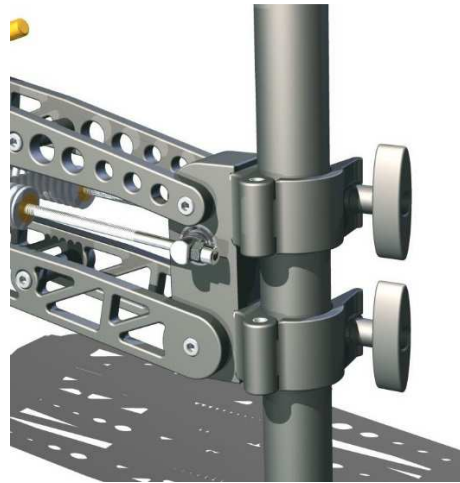
スタンダード VVI Light : 7 - 14kg まで対応

HD スプリング + HD WRI 付 : 12 - 22.5kg

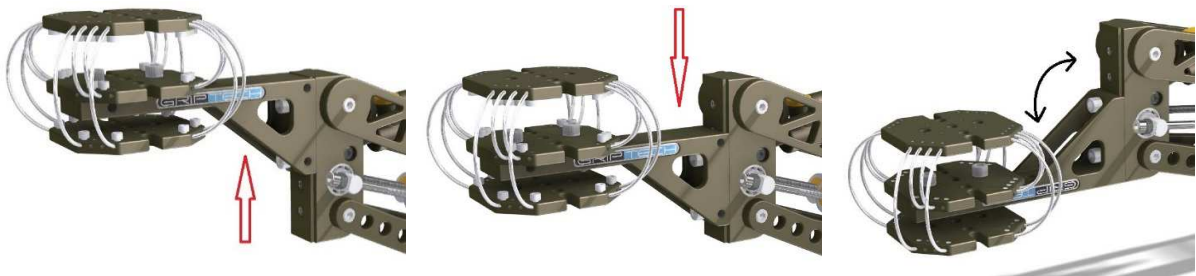
フライトケースには スプリング、WRI 用に空洞があります。



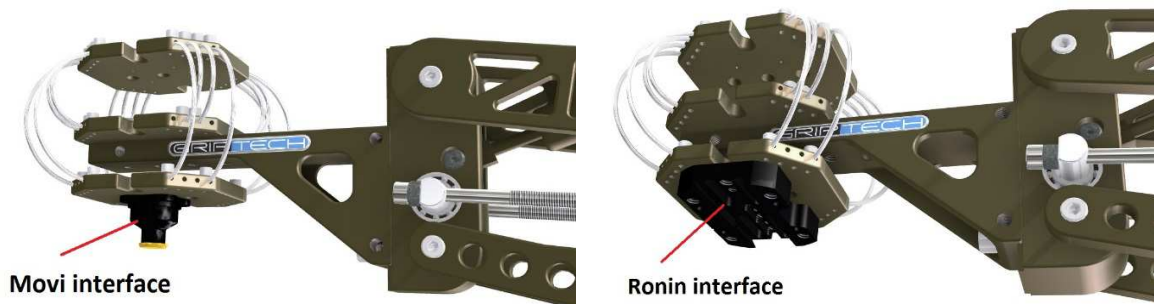
イーゼットアップ - VVI Light は直径 48-50mm のパイプに リアマウントパイプ クランプ 2 個で取付ます。



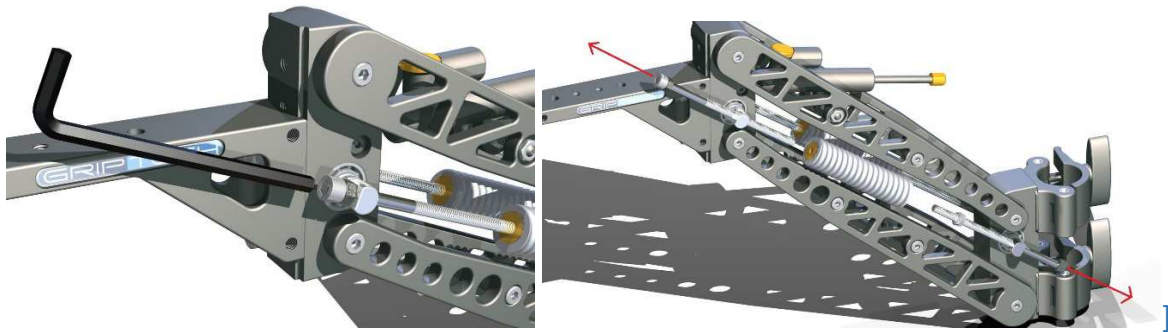
ノズブラケット は垂直方向に（高さ）調整でき、反対向きに取付けも可能です。



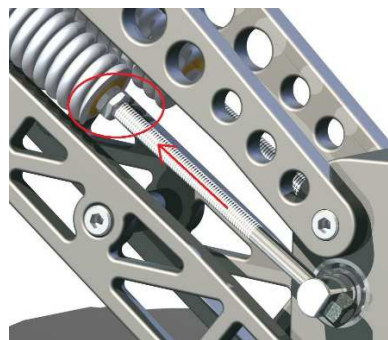
WRU (Wire Rope Isolator) は、2 x 3/3 UNC ねじで、ノズブラケット に簡単に取付けできます。カメラは gimbal なしで トッププレート に取付けできますが、WRI はほとんどの場合、カメラ と吊り下げ状態の gimbal と一緒に取付ます。WRI は Movi や Ronin と インターフェース で接続できます。



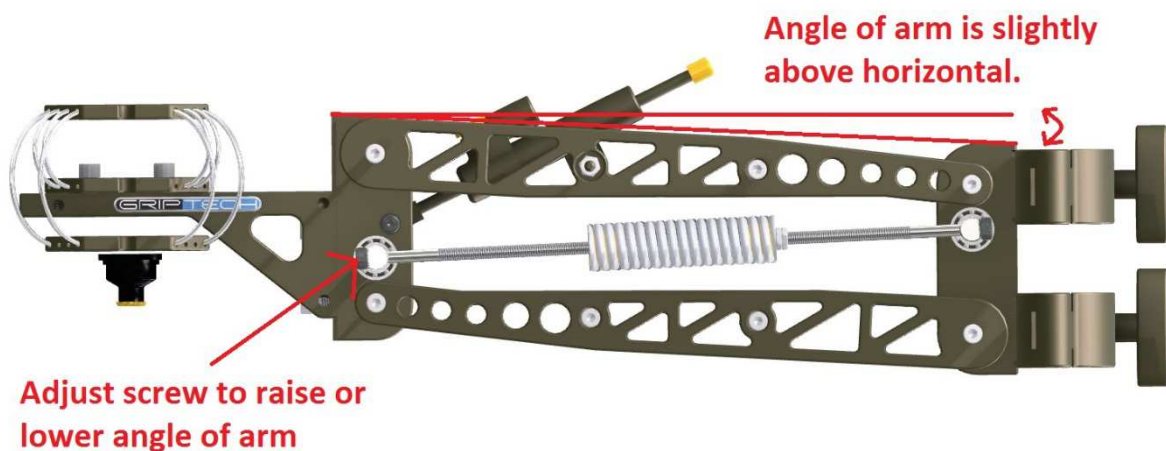
バネ 交換 - 耐荷重を変えるための バネ は簡単に交換できます。 最初に上部の スプリングシャフト の六角 ねじ を緩めます。 シャフト を回して ねじ を外します。 下部の スプリングシャフト も同じように外します。



取付ける ねじ を選択し、下部の スプリングシャフト に ストップ ナット の方向に回します。



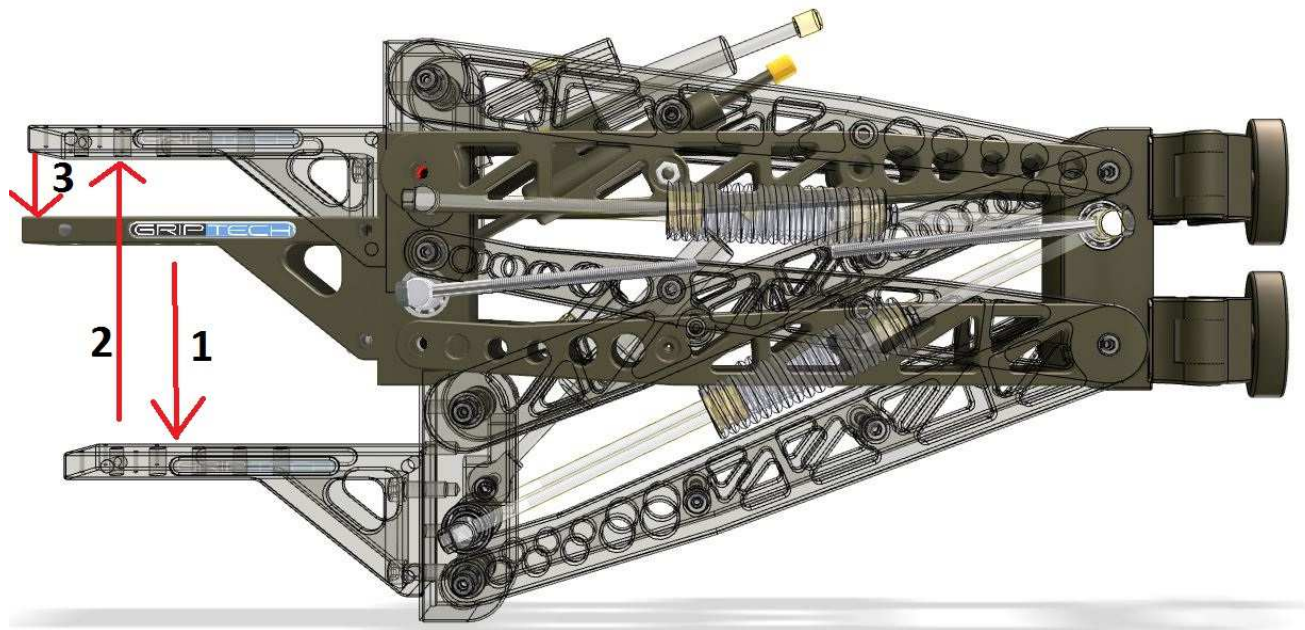
上部の スプリングシャフト をテンション が掛かり 始める ところまで回し、この作業を他の ねじ でも繰り返します。 gimbal と カメラ を取り付け、アーム の角度を確認します。アーム が水平 になっている状態が ベスト ですが、もし水平より下の場合は、六角レンチ を右に回して ねじ を調整して下さい。両方の ねじ に同じ テンション が掛かるように調整して下さい。



ダンパーセッティング - VVI Light は さまざまな耐荷重に合わせて簡単にセッティングできるアジャスタブルダンパーを装備しています。



バル位置または水平よりやや上の位置にあるアームで、アームの正面を押し下げてアームの動きをチェックして下さい。アームが止まるまでの動きが3～4回が正常です。もしアームが何回も上下する場合はアジャストメントブをH(ハード)方向に回します。アームが硬直している場合は、反対側に回します。



アクセサリ.



Moy/Mitchell to scaff bracket



Tow bar to scaff bracket



flat plate to scaff bracket.